



産科だより

康心会汐見台病院

令和3年

◆放置していませんか？ ②

先月号の産科だよりで、子宮筋腫についてお話ししました。今回は同じように放置してしまいがちな良性腫瘍のひとつ、卵巣のう腫についてお話しします。

卵巣のう腫とは、20代〜30代に多い良性腫瘍です。卵巣に液状や組織（毛髪や歯や皮膚など）の内容物を含み、袋状になった病気のことです。内容物により、名称が変わります。種類は3つ。

①卵巣子宮内膜性のう胞（チョコレートう胞）

②のう胞腺腫

③皮様のう腫



①卵巣子宮内膜性のう胞とは、チョコレートとう胞とも言ったりしますが、原因疾患は子宮内膜症です。子宮内膜は通常、月経の前に受精卵を受け入れる準備として子宮の中のできるものです。クッションのような役割と例えられることが多いかもしれませんが、妊娠が成立しなかった場合、そのクッションが不要となり外に排出される現象が月経となります。しかし、子宮内膜症は、子宮の中だけではなく、卵巣や卵管、子宮の外側にもできる病気です。子宮以外で出来た内膜は月経の

時に体外に排出することができず、溜まってしまいます。それが卵巣で起こり、溜まった内膜がどろどろのチョコレートのようになってしまふため、チョコレートとう胞と言います。そのため、症状は子宮内膜症と同じで、ひどい月経痛、下腹部痛、性交痛などがあります。このまま月経のたびに卵巣で内膜が増えては溜まり・・・を繰り返していると破裂してしまふことがあります。そうなる前、激しい痛みを伴い、緊急手術となります。また、破裂したことで溜まっていた古い内膜が体内に広がると細菌などによる感染症のリスクも高まります。

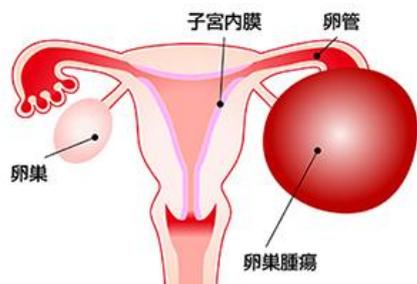
②のう胞腺腫とは、卵巣に液体が溜まった状態です。さらさらした液体の場合は漿液性（しようえきせい）のう胞腺腫、ゼリーのような粘液の場合は粘液性のう胞腺腫といえます。原因はよくわかっていません。のう胞腺腫は、放置するとかなり大きくなることもあり、大きくなることによる痛み、お腹の張り、直腸や膀胱への圧迫による便秘や頻尿が起こることがあります。

③皮様のう腫は卵巣の中に皮膚や毛髪、歯、脂肪などが溜まったものであり、奇形腫の一種になります。類皮のう胞とも言います。稀にがん化することもあり、注意が必要です。

どの卵巣のう腫にも同じことが言えますが、放置して大きくなってくると、茎捻転という状態になることがあります。卵管でねじれてしま

う状態です。その場合、激痛を伴い、緊急手術となることもあります。緊急手術ともなれば、急遽学校や職場の調整をしなければなりません。皮様のう腫のように、稀にがん化してしまうものもあるので、注意が必要です。

卵巣は沈黙の臓器でもあります。症状が始めてからでは、かなり大きくなっていく可能性もありますが、無症状の受診では自費になります。そのため、まずは子宮頸がん検診で産婦人科の受診をしましょう。子宮頸がん検診では、腹部エコーも行いますので、卵巣のう腫の有無や、大きさがわかります。横浜市では子宮頸がん検診を2年に1度受けることができますので、ぜひお気軽に受診してください。



◆今月の赤ちゃん



8月5日生まれた女の子
今月の赤ちゃんはだれにしようかなと悩んでいたところ、受け持ちしていた助産師からおすすめされたのが、この子です。写真ではわかりにくいですが、まつげが長くてとっても可愛らしいんです！授乳の合間に撮らせていただいたので、ちよつと不満そう？（笑）おっぱいの邪魔してごめんね。